

令和5年12月25日

保護者・地域の皆様



イチョウの葉やサザンカの花で

園長室だより NO.3

文京区立第一幼稚園

園長 田村 秀子

03(3813)2756

園庭のイチョウの葉もまばらとなり、冬の青空がよく見えるようになりました。今日で2学期は終わりです。夏の暑さが長引いた秋から、子供たちは日々の生活の中でたくさんのかげに出会い、心も頭も体も使って夢中で遊んできました。自分のやりたいことに自分から取り組み、遊び込む中で、自分の思いを出し、集中して頑張り、イメージを実現しようと工夫し、友達と一緒に取り組む楽しさを感じ、貴重な経験をしてきました。先生たちも子供たちの興味・関心が広がるように、身近な自然と関わる体験、体を動かして遊ぶ体験、音楽を楽しむ体験などをたくさん取り入れ、子供たちが主体的に、繰り返し取り組めるようにしてきました。一つの行事に向かう時には学年を超えて互いに見合ったり、終わると一緒に楽しんだりし、自分たちの遊びに取り入れていく姿がありました。保護者・地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、充実した2学期を過ごすことができました。ありがとうございました。

音楽会、楽しかったね！

今年度は各学級ごとに音楽会を参観していただきましたので、保護者の人数を制限せずに見ていただくことができました。練習の時は、他学年の子供たちや主事さんがお客さんになってくれていましたが、本番は舞台上上がると大勢の保護者が見えて、思わず「たくさんいる！」と驚きの声が上がった学級もありました。大好きな歌と合奏を聞いていただきましたが、並んで舞台上上がり、先生の合図を見てリズムに合わせて演奏し、たくさんの拍手をいただいて嬉しそうに退場していく姿がかわいかったですね。温かいまなざしで子供たち皆を応援していただき、ありがとうございました。



音楽会後には年長が年中に様々な楽器の鳴らし方を教え、一緒に楽しむ姿もありました。来年度につながることでしょう。冬休みも親子で歌ったり手拍子でリズムをとったりして楽しんでください。

年長児がブラインドサッカーを体験しました

18日には、ブラインドサッカー日本代表の寺西^{てらにし}一^{はじめ}選手が第一幼稚園に来てくださいました。年長児はアイマスクをつけての体験にドキドキしながら取り組みました。鈴の音のするボールを持ち、ボールを後ろの人に上から渡したり、前の人に下から渡したりする時には、「渡すよ」「ありがとう」「ここだよ」など言葉をかけるとスムーズに渡せることが分かり、自然と言葉が出ていました。

また1mほど離れた三角コーンにボールが当たるように蹴る体験では「もっと右」「ちょっと左」などの声を聞いてボールを蹴っていました。右左が分からなくなる子、まっすぐ蹴れない子もいるので難しかったですが、中西選手が3mほど離れたコーンにボールを当てるのを見て、「すごい！」と驚いていました。「アンコール」の声が出るなど、もっとやりたくなり、笑顔と学びの時間となりました。





落ち葉のプールだよ。フカフカだ！



木の実や木の葉を並べて貼って



葉っぱの耳をつけた動物さんたち



葉っぱを袋に集めよう



身近なところにアートがいっぱい

木々の紅葉がゆっくりな年でしたので、子供たちは長い間、落ち葉を使って遊びました。また遠足で拾ったドングリや家庭から持ってきていただいた木の実なども使って、様々なものを作り、楽しんでいました。お面ベルトにつけてかぶってみたり、段ボールの板にボンドで貼りつけたり、ままごとのごちそうに使ってみたりなど、自分で新しい落ち葉、古い落ち葉の中からカサカサ具合の良いものを選んだり、新しいピンとした落ち葉を選んだり、木の枝も使ったりなど、いろいろと工夫していました。ちょっとしたアイデアで、自然物は素敵なアートになりますね。先生と子供たちの創り出したアートがいっぱいの2学期でした。自分のセンスで生活を楽しくしていく力、ずっと大切にしてほしいです。

落ち葉の片付けも楽しく！

先週はイチョウの落ち葉をたくさん集めてビニールプールに入れ、その中に入って遊びました。落ち葉を集める時に上手にホウキを使っている子もいました。

また預かり保育の時間にも園庭に出て、きれいな落ち葉で遊んだ後、落ち葉集め競争をしました。2チームに分かれ、落ち葉をどんどんビニール袋に入れて集めました。

どっちの袋が重いか、自分たちで両方の袋を持って比べていました。

大掃除、椅子の足もピッカピだよ

22日に各学級を回ると、どの部屋もピッカピカになってきていました。大変そうだったのが自分の引き出しの整理です。「これはいる」「これはいらない」「これは〇〇ちゃんのだ」などと言いながら、いるものは絵本袋に入れて持って帰りました。そして引き出しの中を濡れた雑巾で拭くと「きれいになった！」と嬉しそうに見せてくれました。「ほら、こっちは真っ黒」と汚れた雑巾も見せてくれて「真っ黒」になるのが面白くなったようです。引き出しの裏側も拭いたり、ままごと遊具や椅子、積み木、製作材料棚などもあちこち拭いて、真っ黒になった雑巾を嬉しそうに見せてくれました。椅子の足や椅子の座面の裏も拭いている子がいて「すごいね」と声をかけると、「ぼくはこだわるから」と言っていました。片付けや掃除にもその子なりのこだわりがあるかもしれません。自分で考え、自分の感覚できれいにしようとしていて、頼りになるなと思いました。ご家庭でも、お手伝いや自分の使うものの片付けをさせると、成長に気付くと思います。

クリスマスのに

22日には、幼稚園の子供たちにサンタさんから手紙と白い袋が届き、子供たちは大喜びでした。空に向かって「ありがとう！」と言ったり、空をずっと眺めたりしている子もいました。

今日25日、終業式で青少年赤十字の話をしました。世界には戦争に巻き込まれている子供たちや十分な水・食料・トイレなどが行き届いていない子供たちがいます。クリスマスの嬉しい日に、世界の子供たちのことも考えてみました。お知らせコーナーのびんに入っている一円玉募金や古切手、使わないプリペイドカードを青少年赤十字に送ります。お子さんが卒園してもポストに古切手を入れてくださる方もいます。身近なことから世界にも目を向け、自分にできることを考えていくのは大切なことですね。